

グアム政府観光局 (GVB)

# 羽田からの直行便就航で 楽しみ方の選択肢広がるグアム

## 早朝から楽しめる豊富な観光素材も



日本からわずか3時間半で米国の空気感を感じることができるリゾートデスティネーションであるグアム。2024年5月からはユニテッド航空による羽田空港からの直行便の運航が開始された。羽田便を使うとグアムには早朝に到着。初日の早い時間帯からグアムの魅力を満喫することが可能だ。今回は羽田-グアム便の初便に搭乗するとともに、現地ではレンタカーを使用して、グアムの魅力を体感した。【取材・文/ 嶺井政敏】

### 空港到着からゴルフ場直行が可能 現地ホテルも早朝チェックインなど受入体制万全

ユニテッド航空のUA848便は羽田空港を夜11時55分に出発すると午前4時45分にグアム国際空港に到着する。レンタカーカウンターはすでにオープンしており、入国手続きを済ませればすぐに車を借りることが可能だ。



ゴルフが好きな人は空港からゴルフ場に直行し、日の出とともにゴルフコースでのプレーが可能だ。羽田線の就航にあわせてゴルフ場もゲストを受け入れる体制を整えている。

空港から直行でゴルフを楽しむことが可能だ。空から直行し、空港から直行するプレーヤーを迎え入れる体制が整っている。近日中には大浴場の施設もオープン予定。滞在環境の向上を図っている。

世界屈指のゴルフコースの1つとして知られるオンワード・マンギラオ・ゴルフコースはオープン時間を早めた。ロッカーにはスーツケースの収納も可能と

そのほかにも、3つのゴルフコースを備えるレオバレス・リゾート・グアムは宿泊施設併設型のコースとなっており、ゆったりとゴルフを楽しむことが可能だ。

### グアムの宿泊施設も日本から 早朝に到着するゲストを迎え入れる体制を整える

羽田線の就航にあわせてグアムの宿泊施設などでは早朝のチェックインや帰国時のレイトチェックアウトなどのサービスを新たに開始したり、プールなどの施設の一部を早い時間から開放する取り組みや羽田線利用者限定で朝食料金を割引する企画など、新たなサービスに乗り出している。



現地の宿泊関係者も羽田線の就航が新たなグアムの滞在方法を生み出すきっかけとして高い期待を寄せる。

グアムのホテルも羽田からの旅客の受入体制を整える(星野リゾートリゾナーレグアム)

星野リゾート リゾナーレグアムの神宮幸徳支配人は「羽田線の運航時間はタイムパフォーマンスが良く、時間を無駄にすることなく滞在する新たな旅のトレンドが登場する可能性があり、期待を寄せている」と話す。

グアムのデイビッド・ボールドウィン総支配人は「羽田線の就航にあわせて新たなサービスを導入した。さらに施設の改修なども行っており、日本から訪れる人々をもっと楽しんでもらえるように準備をしてお待ちしている」と歓迎の姿勢を見せた。

### 「南の島グアム」ならではの体験を提供 新たな大型商業施設も開業、ショッピングの幅も広がる

コロナ禍、そして台風被害から再びグアムの観光を盛り上げようと現地では新たな楽しみ方を提案する取り組みが行われている。特に意識されているのが「グアムならではの体験」だ。

壮大なライブエンターテインメント「KARERA (カレラ)」の上演がスタート。夜のグアムの新たな楽しみとして注目の素材といえそうだ。

海中展望塔やディナーショーなどを展開するフィッシュアイマリンパークグアムの谷彰洋総支配人は「コロナ禍で観光の動きが1度リセットされた中で、南の島であるグアムの体験を短い時間で体験することができる点を意識してコンテンツ開発を進めている」と話す。

さらに羽田線の開設とあわせてグアムの最新トピックスとして高い注目を集めているのが4月に開業したばかりの大型商業施設「ビレッジ・オブ・ドンキ」だ。

同施設では昼の時間帯ではローカルの人たちと交流しながらココナッツの実を削るワークショップなどを開始。グアムのローカル体験を訴求する企画を新たに用意したという。また、夜のディナーショーでは来場者をつながる時間を作るという点を意識してショーの構成を見直したという。

同施設は日本でもおなじみのディスカウントストアであるドン・キホーテ(海外ではDon Don Donkiブランドで展開)を中心にマツモトキヨシやDAISO、丸亀製麺など日本関連の店舗が並ぶ。

エンターテインメント関連では、昨年リニューアルオープンした「サンドキャッスル」ではグアム文化をテーマに最新のテクノロジーと映像特殊効果を駆使した

その一方でグアム土産も充実。グアム・ドンキ限定のアパレルやグッズなども豊富に取り揃えられており、こちらも要チェックだ。



エンターテインメントショーもコロナ禍を経て一新(サンドキャッスルの「KARERA」)

ビレッジ・オブ・ドンキは空港からほど近い場所に立地。営業時間も準備が整い次第、24時間営業に以降する予定となっている。さらに今後は有料で利用可能なラウンジの開設準備が進められており、フライト前後の時間を有効に過ごすことができるようになりそうだ。



4月に完成したばかりのグアム最新スポット「ビレッジ・オブ・ドンキ」

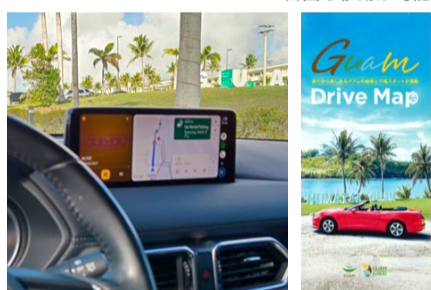
### グアム島内の移動はレンタカーがおすすめ 早朝からグアムの魅力を目一杯楽しむことが可能

大自然や歴史・文化資源。そしてSNS映えするようなフォトスポットや充実のショッピング施設など多彩な顔を見せるグアムの魅力をフルに楽しむために有効な手段となるのがレンタカーだ。



レンタカーを使えば時間に左右されず自由な移動が可能

事前に予約しておけば、空港でスムーズに借りることができる。日本と異なる左ハンドル、右側通行を不安視する声が多いかもしれないが、グアムの道は広く、交通量もそれほど多くはないので、日本で普段運転している人であれば、交通の流れにも乗りやすく、すぐに順応することができるだろう。



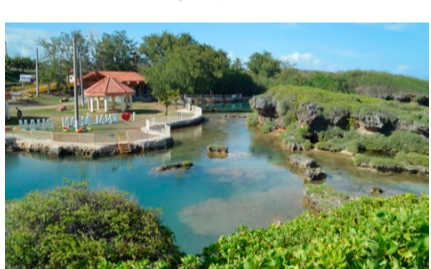
レンタカーの車種によってはスマートフォンと接続し、日本語ナビの使用も可能

レンタカーを使用すれば、早朝のグアム国際空港到着でも、さまざまな場所にアクセスすることができる。タモン地区や恋人岬といった定番スポットのみならず、南部のイナラハン地区を始めとした自然たっぷりのエリアにも直接アクセスすることもできる。

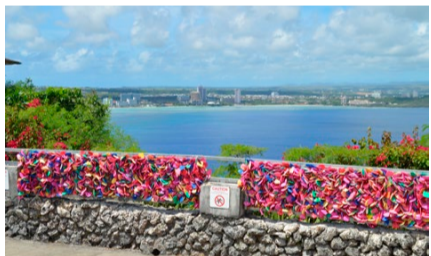
グアム政府観光局ではこのほど、日本語版のドライブマップを制作。車だから楽しめるグアムの絶景や穴場スポットを紹介している。また、レンタカーの車種によってはスマートフォンとの連動が可能なものもあり、車載のモニターを使った日本語のマップアプリで道案内を支援してもらうこともできる。

また、グアムのローカルレストラン「KINGS」でグアムの住民とともに朝食を楽しんだり、週末であれば人気のローカルマーケットの1つである「デデの朝市」に向かうというのも1つのアイデアではないだろうか。

グアムの観光スポットを巡る1つの選択肢としてレンタカーを加えてみるのはいかがだろうか。



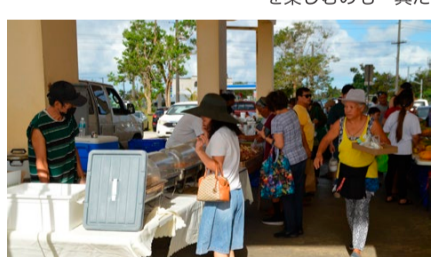
イナラハン天然プール(写真上)に立ち寄ったのち恋人岬(写真下)に向かうというドライブも可能



グアム島各地に点在する写真映えスポットを巡るのも楽しい



グアム現地の人々とアメリカンブレイクファーストを楽しむのも一興だ



地元住民や観光客でにぎわうデデの朝市

### 羽田線はグアム観光促進の「ゲームチェンジャー」 成田線との組み合わせで多彩な旅程作成が可能に

5月1日から羽田-グアム線が就航したことで、ユニテッド航空の東京からのアクセスは各段に向上することとなる。



羽田線がグアム観光のゲームチェンジャーに(就航記念セレモニーの様相)

羽田発の深夜便が追加されることで、平日の仕事が終わった後にグアムに向かうことができるほか、神奈川県や東京都南部からの航空便利用も容易になる。

とで、ファミリー層や団体旅行などさまざまな旅行需要に対応できる点も訴求していきたい考えだ。

それだけではなく、全国各地からの国内線が就航する羽田だからこそ、地方都市からのアクセスも一段と向上することで、グアムに向かう新たな選択肢創出にもつながりそうだ。さらにユニテッド航空(UA)の桐山謙一日本・ミクロネシア地区営業担当支社長は「成田線を組み合わせることでさまざまな旅程を作ることが可能だ」と話す。同社は、1日で最大5便を運航する成田線と組み合わせるこ

グアム観光関係者の大きな想いを受け止めて運航を開始したユニテッド航空の羽田-グアム線が大きな流れを作り出すことができるのか注目していきたい。